



2009/10 WEEKLY BULLETIN

国際ロータリー第 2790 地区第 3 分地区 B

市原ロータリークラブ会報

第 2233 回例会 2009 年 10 月 7 日(水) SAA/蔵内会員 会報担当/平野会員
例会場五井グランドホテル 市原市五井 5584-1 事務局 0438-38-3535



点鐘 市原 RC 会長 千葉精春 ソング 君が代、奉仕の理想

お客様 市原市役所 NPO ボランティア支援室 中村博幸様 JAL アカデミー ワイン講師 菊地千穂様
米山奨学生の尹 青林さん

市原 RC 会長 千葉精春



会長挨拶

先週は1泊2日で群馬県への研修旅行で玉原水力発電所見学・尾瀬ヶ原へのハイキング、東京電力さんには大変お世話になりました。増田さんありがとうございました。

本日はお客様として 市原市のNPO・ボランティア支援室の中村様にお越し頂きました。中村さんには「地域社会貢献基金」を今年度より公募するにあたり 募集要項の作成、公募する手段等においてさまざまなアドバイスを頂きました。

また 7/1 号の広報「いちはら」にて 基金の紹介ならびに募集開始についてかなりのスペースをさいて掲載して頂きました。行政に関わること意外は載せないこととなっておりますが今回は特別なご配慮を頂きまして掲載して頂きました。

その甲斐あり15件の応募がありました。あらためまして感謝申し上げます。

今日は例会後のプレゼンテーションにあたりいろいろお骨折りをいただけたとのことでした。

そして、JAL アカデミー ワイン講師の菊地千穂様にお起し頂きました。

菊地様は山崎会員の姪御さんです。10月28日の「ワインの夕べ」でお世話になります。

そして 第一例会ですので米山奨学生の尹青林さんにお越しいただきました。

今月10月は職業奉仕月間ならびに米山月間です。

尹さんには本日の卓話を頂くこととなっています。宜しくお願いします。

職業奉仕はロータリー創成期からさまざまな経緯を経て確立されたロータリーの基本理念です。

この職業奉仕こそがロータリーの特徴であります。

職業奉仕の理念を理解しないことには真のロータリアンとは言えないとの思いです。

職業奉仕月間にあたりましては、職業奉仕委員会委員長の始関さんが職業奉仕に関する炉辺会談、職場訪問等を企画して頂いております。



幹事報告 幹事 泉水



1. 11月のプログラムをメールボックスに入れてありますので、ご確認ください。

2. 地区大会の登録料の件ですが、先日お伝えしましたように、地区大会は全員登録で、登録料 10,000 円(会員負担は 5,000 円)です。10/7(水)より事務局が徴収いたしますので、よろしくお願いいたします。地区大会2日目 10/25(日)全体会議・大懇親会の日ですが、食事は全会員分用意されています。交通手段として、クラブでは、バスをご用意しますので、バス利用希望の方は、事務局までお知らせください。また、車で行く予定の方は、駐車場のスペースの都合もありますので、同乗者の方も含めて、事務局まで、お知らせください。よろしくお願いいたします。

3. 白井 RC より例会場、日時変更のお知らせが来て居ります。詳しくは事務局まで、お問い合わせください。

4. 国際奉仕委員会より、PJ 交換留学生5名のホストファミリー応募の願いが来て居ります。

日程は12月11日~20日の期間です。御協力頂ける方は、山本委員長までご連絡ください。

5. 地区 WCS 推進委員の推薦について地区よりご案内が来て居ります。詳しくは幹事までお尋ねください。



1. 自己紹介 私は中国吉林省の龍井という所で生まれました。

私の家族は、親と姉と私、四人の家族です。私が生まれた所は、一年中季節の変化が明らかな町です。私は、2003年に中国の長春工業大学を卒業し、中国上海にある企業で2年間勤務しました。2005年の9月、日本に留学して、早稲田大学の日本語別科で1年間日本語の勉強をしており、現在は、千葉工業大学の社会システム科学研究科マネジメント工学専攻に在籍しており、今は修士2年目になりました。

2. 日本に留学した理由 私は中学校から日本語を第一外国語として学習しながら、日本の伝統文化や歴史などに関心を持ち、日本語を勉強すれば、将来、国際的に活躍できると思いました。私にとって、日本はずっと憧れでした。

また、日本は先進国であり、世界最高レベルの技術と知識を学ぶことができると思いまして、このような理由から日本に留学しました。

3. 日本での生活 「留学どう？」と会う友達に聞かれるたびに、私は「よかったよ、楽しかったよ！」と答えてしまいます。

本当は、そんな一言で私の思いを言い表すことは無理なのだけれど、楽しかった思い出、貴重な体験、また辛かったことはあまりにも多すぎて、全部を話すには時間がかかりすぎてしまうのです。生まれも育ちも中国という私にとって、初めての地で、しかも違う言葉話す人たちの中で暮らすことは人生史上最大のチャレンジでした。

もし、日本に来なかつたら中国で安定している悠々な生活をしているはずですが、「日本に行って、何を得たのか」聞かれると「自立、自信を持って頑張れば認めてくれる事」と答えたら、自慢が思わずに溢れてきます。

また、日本に来ていろいろ感じましたが、その中でも感懐が深いことは、四季折々の風物が楽しめること、届け物が約束どおり届くこと、交通機関が時間どおり動くこと、そして清潔なこと、お互い尊重すること、日本は世界的に見ても完璧な民主主義国家であることなどです。

4. 研究内容 大学院ではTOC導入によるPM初等教育に関する研究を行っております。

現在、初等教育の現場では、学力及び学習意欲の低下、学級崩壊、発達障害児の存在等の様々な問題を抱えています。これらの問題は以前から教育委員会、父母、マスコミ等により、指摘されていますが、本質的な解決法は見つかってありません。特にコミュニケーションスキル等、児童の低下したヒューマンスキルの向上を図るためには、今までには無かった観点から新しい教育法を検討する必要があります。

- 初等教育問題の現状とPM導入の必要性は

学力・学習意欲低下問題の要因と考えられるのが、「ゆとり教育」導入による、授業内容及び授業時間の削減であります。これらは児童への学習機会を減少させ、児童の主体的な学習までも障害するものであります。

問題育成の為に児童に求められるスキルは、学力・学習意欲の低下問題の為に児童に求められるスキルは、小学校での現場調査の結果、低下した学力自体よりも、コミュニケーション能力等のヒューマンスキルである事が判明しました。

- 現状対策のPMとの適合点と問題点は

学力・学習意欲の低下抑制の為に、小学校現場において実践されている対策をPMとの適合性から検討した結果、チーム学習を主とした授業スタイル、コミュニケーション能力の向上ものづくりを実践する授業でありました。これらは、PM教育の要素に含まれているものであり、適合性を検討した結果、初等教育へのPM要素の導入が可能であることが判明しました。

- 現状対策の問題点は

初等教育現場では学力・学習意欲の低下抑制を目的とした様々な対策が行われています。しかし、PM教育という視点にこれらを検討した場合、問題を有期的に解決できない、解決への無期性、ごく限られたスキルのみを育成の対象とするヒューマンスキルの軽視が挙げられました。PM教育を実施する上で、これらの問題は考えられていないものであります。だが、以上の問題はPM教育の要素を導入する事で解消が期待できます。これにより、初等教育に対してPMを導入する妥当性が明確となりました。近年、初等教育の現場では、児童の学力の低下に対応した効果的な指導方法の検討が重要視されています。

また、いじめや学級崩壊、教師による職場放棄等の様々な問題が発生しており、その解決が急務であります。

近年、初等教育の現場では、児童の学力の低下に対応した効果的な指導方法の検討が重要視されています。また、いじめや学級崩壊、教師による職場放棄等の様々な問題が発生しており、その解決が急務であります。

従来、初等マネジメント教育に関しては、児童のための PM に関する著書やチーム学習に関する教育手法等が報告されておりますが、PM を初等教育に活用する具体的な指導方法に関する研究はほとんど見られておりません。PM の初歩的な知識と実践的な教育法が、初等教育現場に導入されれば、初等教育における様々な問題点を解決するための手法の提案や児童のコミュニケーション能力の育成が期待できます。

本研究では、ウェブ対応型 PM 初等教育用実践ガイドブックの開発について報告します。本研究で開発した教育用ツールは、日本語の他に中国語と韓国語で利用することも可能であり、初等教育の現場での幅広い利用が期待できます。さらに、制約条件理論の TOC(Theory Of Constraint) 思考プロセスを導入することにより、PM 初等教育問題解決能力を育成し、向上させます。以上は、現在行っている研究の内容についての説明です。

5. 今後の進路について 卒業後は、今まで自分を育ててくれた親と、お世話になった人達に恩返ししたいと思っております。後は、国際協力、特に日中発展の架け橋になり、日中発展と繋がりに貢献して行きたいです。

また、私の留学経験を伝え、多くの人に日本のよさを知ってもらいたいと思います。

6. ローターリーに入って 日本にきてあつという間に4年が過ぎました。

今顧みれば、日本に来て辛いこともありましたが、でも楽しい思い出の方が多かったと思っています。ロータリーの奨学生になって、もう6ヶ月過ぎました。この間皆さんは私の経済面だけではなく精神的面でもいろいろ支えてくれました。このチャンスをいただき、私はとても幸運だと思っております。

お蔭様で現在は、研究に専念して毎日イキイキと充実して過ごすことができました。

ロータリーでの一年間は、私のこれからの人生において、非常に大事な経験になることを信じております。

私は日本での留学生活で二つのことを覚えました。一つは、常に人に感謝する気持ちを持つこと、もう一つは夢を捨てず、諦めず、希望を持って頑張ることです。

常に感謝の気持ちを持つと、自分の心が豊かになり、自分もうれしくなります。また、夢を実現するためには、それなりの苦労や困難もあるが、そのことで得られるものも多いのです。苦労があるから、達成した時の喜びも大きいし、自信も得られるのだと思います。

皆様が歩んで来た成功への道が、私が歩むべき道で、皆さんの今が、私の明日であろうと、確信しています。そのために一生懸命頑張りますので、よろしくお願い致します。

以上

委員会報告

職業奉仕委員長 始関会員

炉辺会談開催のご案内 10月14日 18:00より 淡水にて

赤星会員に、「激動の時代を如何に経営してきたか」をお話いただきます。参加お願いいたします。

例会運営委員長 篠田委員会

移動夜例会「ワインの夕べ」のご案内 10月28日 18:00より 淡水にて

菊地千穂様を講師にお迎えしてワインをテーマにした例会を開催いたします。ぜひご参加下さい。

ニコニコ・ソーリー

山崎会員

新約聖書第13章 愛は寛容であり 愛は情深い

昭和から平成へとよくもまあ 男の美学で50年 是からもどうぞ宜しく女房どの！

三木会員

東電さんのお陰で有意義な研修旅行ありがとうございました。

それにつけても会報の写真、でしゃばって写りました。恐縮しております。

篠田会員

研修旅行において、東電様のご協力により無事帰ってくる事が出来ました。多くの会員の皆様の参加感謝いたします。

千葉会長・泉水幹事

尹 青林さん卓話ありがとうございます。市原市役所の中村様色々お世話になります。
菊地千穂様 10/28の「ワインの夕べ」楽しみにしております。よろしくおねがいいたします。

誕生祝い: 川島会員、三木会員、白鳥会員、千葉会員、泉水会員、高澤会員

結婚祝い: 川島会員、齊藤(博)会員、山崎会員、千葉会員、羽良会員、常澄会員、山本会員、西村(芳)会員
万崎会員、三宅会員

出席報告

前々回 84.4% 本日出席 36名 欠席 9名 本日出席率 80%

社会奉仕委員会 “社会貢献基金”いちょうコース公開プレゼンテーション(¥300,000)

応募団体

NPO 法人コミュニティーフォーラム上総更級会 代表者 理事長 常泉健一様

「地方自治体や企業、地域住民と共に、創造的文化的な地域作り推進に寄与。学校支援事業として、出前講座を実施」

music カルテット “未 miku 来” 代表者 松本雅代様

「自主コンサート、音楽を通して地域・社会文化活動に尽力」

地域応援団 川島会 代表者 川島良雄様

「個人事業主が商売を通し地域青少年の育成・環境保全ボランティア参加の呼びかけ」

市原 NPO 協議会 代表者 井本義孝様

「行政と連携し、市民センターの機能発揮」

**NPO 法人
コミュニティーフォーラム上総更級会**

**music カルテット
“未 miku 来”**

地域応援団

市原 NPO 協議会



以上 4 団体による公開プレゼンテーションが行われました。

コスモスコース応募団体(¥100,000)

市原市男女共同参画の会 代表 岸本静江様

男女共同参画の意識啓発幼児期、青少年期からの家庭教育、社会教育の問題活動

ハーモニカと童謡 代表 佐藤文衛様 一人でハーモニカ演奏

パソコン教室 代表 山下佳孝様 無料のパソコン教室

たけのこくらぶ 代表 山本やす様 未就園児と母親の会

市原湾わん・にゃん会 代表 吉田聖知恵様 捨て猫・捨て犬の保護、里親探し

市原の民謡を語る「どんぐり座」 代表 瀧本平八様 市原古老たち伝承の漁村、農村、山村民謡の語りべ

ナツメロ会 代表 村越正明様 楽器演奏と歌、トーク

ものづくり村交流会 代表 橋本憲次様 大工、鍛冶屋等工芸を通してのものづくり

Satoyama よくし隊 代表 橋本賢次様 里山整備事業、竹林保護

もの忘れのある方の懇談会 代表 安田清様 高齢化の認知症、失語症の体験談と対策

風呂の前風山保存会 代表 中山ミヨ子様 市原の自然保全、里山再生、カタクリの花の保護